

ADESSO

NA-816

電波時計

取扱説明書（保証書付）

このたびは電波時計“NA-816”をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書を良くお読みになり正しくお使いください。
また、保証書とあわせて、いつでも再読できるように大切に保管してください。
※この時計は日本国内用です。海外の時刻電波には対応しておりません。

特長

- 電波を正しく受信する所では時刻調整（アラーム時刻調整を除く）が不要です。
- 受信周波数〔福島局（周波数40kHz）／九州局（同60kHz）〕の自動切替。
- 電波を受信しない場所、しない間はクォーツの精度で作動します。
- LEDバックライト付。
- 止めてもまた鳴るスヌーズ機能付きアラームです。
- 温度・湿度計付で室温、湿度が一目でわかります。

仕様

オートカレンダー表示：2006年1月1日～2069年12月31日までの月日、曜日

時刻表示：時分秒（12／24時間表示切り替え）

デイリーアラーム機能：電子音（2分間）、スヌーズ機能付（5分間、最大7回）

LEDバックライト機能：表示部〔手動点灯（約5秒間）〕

受信電波：標準電波JJY、周波数：40kHz／60kHz（自動選局）

自動受信：1日1回（最多4回）次回の受信までクォーツの精度で動いています。

表示精度（受信後）：±1秒以内

精度（クォーツ）：平均月差±30秒以内

温度計測機能：計測範囲＝－5℃～＋50℃ 表示単位＝0.1℃
計測精度＝±2℃（0℃～40℃）

湿度計測機能：計測範囲＝20％～99％ 表示単位＝1％
計測精度＝±1.0％
※湿度が20％以下では「LL」、99％以上になると「HH」と表示されます。

使用温度範囲：0℃～50℃（この温度範囲を超えると液晶表示が見えにくくなる場合があります。）

使用電池：単3形乾電池×2本（マンガンまたはアルカリ乾電池）

電池寿命：約1年間（マンガン乾電池使用でアラーム1分／日使用した場合）

※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

リセット機能について

リセットスイッチを押すと、設定されている日付・時刻やアラーム時刻が初期状態に戻ります。

電池をセットした後に表示がおかしい場合や、時刻・アラーム時刻の設定時に操作が分からなくなった場合は、先端の細い棒でリセットスイッチを押してください。

【裏面】

リセットスイッチ

安全上の注意/使用上の注意

！ 注意

- 液晶画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶画面のガラスが壊れてけがの原因となる場合があります。
- 液晶画面が壊れた場合、表示画面内部の液体には触れないでください。万一以下の状態になったときはそれぞれの応急処置を行ってください。
(1) 口に入った場合はすぐにうがいをして医師に相談してください。
(2) 目に入ったり皮膚に付着した場合は、きれいな水で最低 15 分以上洗浄したあと、医師の治療を受けてください。製品を不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。
- 極端な低温や高温な場所および湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。
- 製品を分解・改造などしないでください。
- 電池は⊕⊖の方向を正しく入れてください。
- 使い切った電池は本体から取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、本体から電池を取り出して保管してください。
- 新旧・異種の電池を混用しないでください。
- 落下や衝突など強いショックを与えないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。
- 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- 電池の着脱を長く伸ばした爪で行うと、思わぬケガをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

◆ 液晶パネルについて

- 静電気や圧力を加えることにより、黒い線や縞模様など発生することがありますが故障ではありません。しばらくすると元にもどります。

！ 警告

- 製品梱包用の袋はお子様の手の届かないところに保管または廃棄してください。
- 電池の液が目に入ったときは失明などのおそれがあるので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
- 電池を分解・過熱したり、ショートや火中への投入などしないでください。

保証・アフターサービスについて

使用方法などのご相談は…

お客様相談窓口

製品の機能、操作等に関するご質問にお電話でお答えします。

0120-628-756

受付時間／午前10:00～午後5:00（午後12:00～午後1:00・土・日・祭日は除く）

故障かな？と思ったら

●表示が出ない

- 電池をセット後、リセットボタンを押しましたか？
➡先端の細い棒でリセットボタンを押してください。
- 電池の入れ方が逆になっていませんか？
➡電池の⊕⊖を正しく入れなおしてください。
- 電池が消耗していませんか？
➡新しい電池に取り替えてください。

●アラーム音が鳴らない

- アラームスイッチが“OFF”になっていませんか？
➡アラームスイッチを“ON”にしてください。

●時刻またはカレンダーの表示が欠けている

- 静電気等による誤作動の可能性があります。
➡先端の細い棒でリセットボタンを押してください。

●時刻またはカレンダーが合っていない

- 受信に成功していない可能性があります。
➡リセットボタンを押し、窓際などに場所を変えて再度受信しなおしてください。

電波時計について

この時計は標準時刻電波を受信し時刻調整を行う時計です。

■電波時計について

本製品“電波時計”が受信するのは、情報通信研究機構（NICT）が日本標準時として運用している標準電波（JJY）です。

福島県おたかどや山の福島局（周波数40kHz）、佐賀県はがね山の九州局（同60kHz）の2ヶ所から保守点検や雷対策作業などの場合を除いて、常時送信されています。

標準電波は、およそ10万年に1秒の誤差という超高精度の「セシウム原子時計」によってコントロールされており、時刻のほかにカレンダーの情報も含まれています。

・この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

時刻電波の広がり

受信範囲の目安

電波環境上、条件がよければ送信所から1,000km離れた場所でも受信できることがあります。

ただし、以下のような場所では電波を受信しにくくなりますので、このような場所は避けてご使用ください。

- 高層ビル群の谷間
- ・ただし、窓際で使用する受信しやすくなります。
- 鉄道・高速道路・空港の近辺
- 工事現場・高圧線等の近辺
- 悪天候（台風、雷、雪等）の時
- 家庭電化製品・OA機器のそばや金属製の家具の上など。

上記の条件にあてはまり、受信による時刻の時刻調整ができない場合は手動による時刻調整が可能です。

その場合は通常のクォーツ時計としてお使いいただけます。

電池交換

①裏面の電池カバーを開けてください。

②電池ホルダーの＋方向を間違えないように電池を完全にはめ込んでください。

- 使用電池は単3形乾電池×2本です。
- 付属の電池はテスト用電池のため、本書記載の電池寿命に満たない場合があります。
※テスト用電池とは、時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

各部の名称

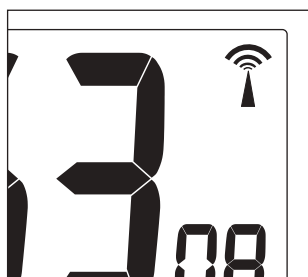


電池のセットとその後の作動

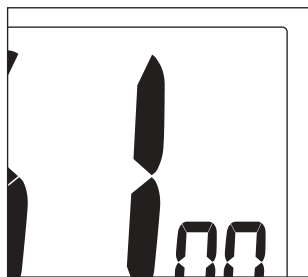
始めに、電池の⊕ ⊖を正しくセットし、先端の細い棒でリセットスイッチを押してください。

表示が午前12:00:00、1月1日、日曜日と表示しますので、電波を受信しやすい窓際などの場所に設置してください。リセット後10分間受信作動をします。通常、受信には3～5分程度の時間を要しますが、設置場所の環境等によってはそれ以上の時間を要する場合があります。受信中は[▲]マークが点滅します。
※受信作動中は本製品は移動させないでください。
※電波を受信中はボタン操作ができません。

正常に電波を受信した場合、“[▲]”の表示が出て正確な時刻表示となります。（月日、時分秒、曜日）
正常に受信できなかった場合は場所を変えて再度受信操作を行うか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。
受信による時刻調整が正確に行われたあとは、1日1回（最多4回）の自動受信によって再度時刻調整を行います。



〔受信に成功した場合〕



〔受信できなかった場合〕

電波受信機能（強制受信）

通常表示のときに、強制受信ボタンを2秒以上押し続けると「ビ」と音が生じて受信を開始します。もう一度強制受信ボタンを2秒以上押し続けると受信動作は止まります。

温度・湿度表示

本製品の温度・湿度の表示は、センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度・湿度が変化しても表示が変わるまで時間がかかります。

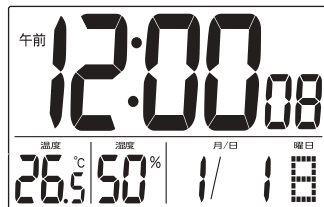
標準電波受信による時刻調整ができない時は、次の操作をしてください。

日付時刻の合わせかた

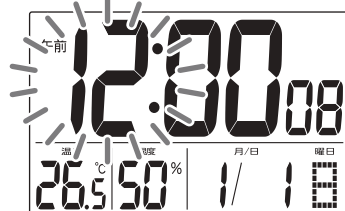
通常表示であることをご確認ください。

- 1.モード／セットボタンを長押しする。（時セット表示に切り替わります。（点滅））再度モード／セットボタンを押すごとに点滅する表示が変わります。
 - 2.▲ボタン、▼ボタンを使って、日付時刻（順番：時→分→秒→年→月→日）を合わせます。
◆日付は2006年1月1日～2069年12月31日までセットできます。
正しく年月日をセットすると、自動的に曜日を算出し、表示します。
※押したままの状態にすると早送りができます。
 - 3.日付時刻を合わせ終わりましたら、モード／セットボタンを押して完了です。
- セット状態で表示を点滅したままにしておくと、約15秒後自動的に通常表示に戻ります。

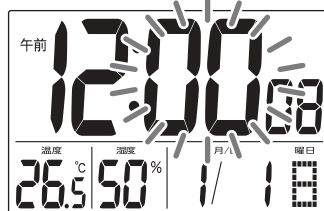
【通常表示】



【時セット表示】

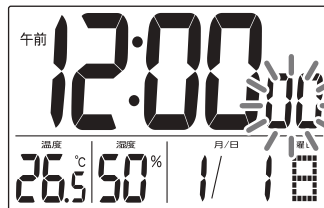


【分セット表示】

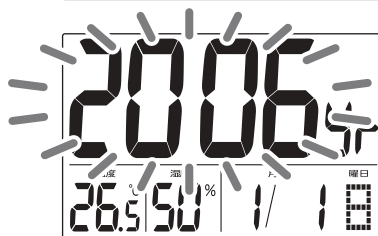


【秒セット表示】

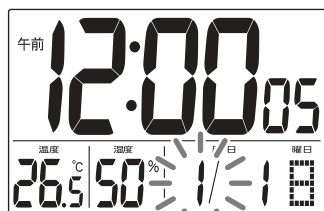
※秒は▲または▼ボタンを押すたびに00秒に設定されます。



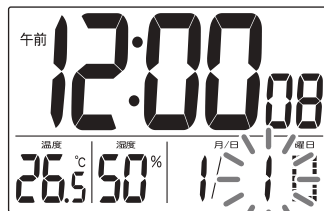
【年セット表示】



【月セット表示】



【日セット表示】



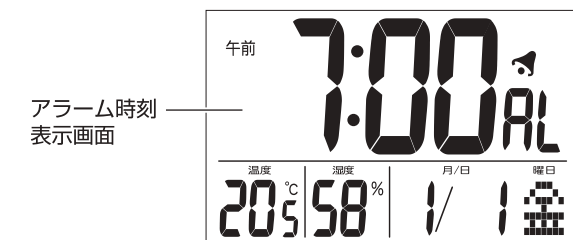
12／24時間制表示の選択

通常表示の状態では▲ボタンを押すと12時間制または24時間制を切り替えることができます。

アラーム時刻の合わせかた

通常表示であることをご確認ください。

モード／セットボタンを押すとアラーム時刻が表示されます。



アラーム時刻が表示されている状態でモード／セットボタンを長押しするとアラーム時刻が点滅します。▲ボタン、▼ボタンを押して時刻を指定してください。12時間表示の時は午前、午後表示にご注意ください。

※押したままの状態にすると早送りができます。
アラーム時刻を合わせ終わりましたら、モード／セットボタンを押して完了です。

- セット状態で表示を点滅したままにしておくと、約15秒後自動的に通常表示に戻ります。
- 受信中（受信マークが点滅）は、アラームの時刻設定はできません。強制受信ボタンを長押しし、受信を中止してから操作してください。

アラームのオン／オフのセット

アラームをオンにするにはアラームスイッチを「ON」に設定します。アラームをオンにすると画面上に[▲]が表示されます。アラームをオフにするにはアラームスイッチを「OFF」に設定します。アラームをオフにすると画面上の[▲]が消えます。

＜アラーム設定時刻になると＞

セットされた時刻になるとアラーム音が鳴ります（2分間）。本体正面のいずれかのボタンを押すとアラーム音は止まります（翌日同時刻にまた鳴ります）。スヌーズ／ライトボタンを押すと、アラーム音がいったん止まり、5分後にまたアラームが鳴ります。（最大7回。スヌーズ起動中はZ[▲]が点滅します。）
※スヌーズ機能は本体正面のいずれかのボタンを押すと解除されます。

バックライト

スヌーズ／ライトボタンを押すとバックライトが点灯し（約5秒間）暗い場所でも表示を見ることができます。（バックライトの使用頻度が高いと電池の寿命が極端に短くなることがあります。）